

令和3年度大町市ケーブルテレビ放送番組審議会議事録（要旨）

開催日時	令和4年3月28日 午後3時00分
開催場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者	
審議会委員	降旗 和幸 竹村 静哉 眞鍋 充善 大谷 由美子 鷺澤 奈津美 細井 忠
事務局	松井 聖徳 倉科 太 宮沢 卓

報告事項

(1) 令和3年度放送番組実績等について

・委員からの質問等

○去年の加入促進キャンペーンで加入負担金を無料にしたが、その効果で加入した人はいたか。
→キャンペーン期間の加入は90件程度であった。

○本来どれくらいの加入者がいればよいのか。

→全世帯数の3割の加入があれば、安定的に経営していけると考えられている。ただ、ケーブルテレビ導入の時に試算したところによると、損益分岐点が25%前後ということなので、今はそれに近いような状況になってきている。加入数も減っているが、大町市の世帯数自体も、だんだん減ってきてしまっているの、加入率の大きな変動はない。

審議事項

(1) 令和4年度放送番組編成等について

・委員からの質問等

○保育園の卒園式と入園式の放送はありますか。

→八坂地区と美麻地区については、合併以前から実施していたということで、現在も放送している。市内の保育園については、ニュースで部分的に取り上げている。保育園行事は人気があるので、より多く放送したいが、7園あるため物理的に撮影シフトが組めるか検討していきたい。

○保護者としてはより多く保育園行事を撮影してほしいと思う。ただ、あすなる保育園などの大きい保育園になると、学年ごと行事を行っているの、全部回るのは難しいかもしれない。

→今検討しているのは、保育園にカメラなどの機材を貸し出して、撮影してもらい、編集して放送することである。なるべく多くの保育園行事を放送できる方法を検討していきたい。

○保育園の行事などが放送できるようになれば、保護者が行かなくても見られる部分があるのでコロナ対策としても有効な部分があるのではないかと。それをアピールして加入してもらおう方法もある。

(2) アンケート調査結果について

・アンケート概要

○期間 2月1日～2月28日

○方法 広報へアンケート用紙を折り込み配布、市職員へアンケート用紙の配布

○回答数 383（うち一般市民23）

・結果内容

○回答状況は、40代～60代が多くを占めている。次に多いのが30代、20代で、子育て世代である20代～50代の回答が6割を占めていた。

○自主放送の視聴状況は、多くは「視聴経験はある」というような回答だったが、20代の視聴割合が比較的低いということで、若い世代を中心にテレビ離れが影響していると感じた。

○自主放送の番組内容についての質問は、記述式の質問をさせてもらった。学校行事や保育園行

事、地域の行事等についての好評価が多かったように感じた。番組の要望で一番多かったのは、「店舗や飲食店を食レポなどでもっと取り上げて欲しい」で、地域の人物紹介やサークル、団体の紹介の要望も多かった。意見を集約すると「市内のことをよく知りたい」という意見が多いと感じた。地元企業の紹介や会社訪問みたいなこともやって欲しいという意見が目立っていたので、短時間の番組でも制作できないか検討している。

- ケーブルテレビ事業全般については、「加入料が高額である」、「利用料が高額である」というのが主な意見だった。利用料については、県内や他事業者と比較しても、高額ということはないが、他の事業者が、インターネット通信などの付加サービスを付けていることで割安感が出ている。これから大町市でも検討していかなければいけない時期にきていると考えている。
- 今後どんなサービスが欲しいかご意見を取ったところ、多かった意見は、「ネット配信」や「ネット接続」、「ネットコンテンツ」の意見がほとんどを占めていた。他には「テレビ東京の再放送をぜひやってくれ」や「全域の光化」、「双方向通信によるサービス展開ができないか」といった意見があった。

・委員からの質問等

- 広報に用紙を折り込んだにしては市民からの意見が少ない。入っている人の割合が4分の1くらいだから、入っていない人はなかなか書かないかもしれない。
- 要望をできるだけ叶える方向で、検討をしてもらいたい。大変な部分があるかと思うけども、要望に答えてあげられると、引き続き見てもらえたり、魅力あるケーブルテレビになったりする気がする。
- アンケートのやりっ放しでは駄目なので、要望に対してできた部分とできない部分については、随時、ホームページ等で広報していきたいと考えている。
- 移住者にケーブルテレビに入ってもらい、大町の魅力などをもっと発信してもらえば、移住してきてよかったなと思えるのではないか。
- 長く大町市にいと、何が魅力かわからなくなるのかもしれない。番組制作に活かして行きたい。
- タイミングがずれて見たい番組が見られなかったりするので、放送枠を増やしたりすることはできるのか。
- 通常の放送とは別にずっと天気を流しているチャンネルがあり、そのチャンネルの一部の時間帯でアーカイブを放送することはできるかどうか技術担当と検討している。
- 美麻のほとんどの地域は、光回線のインターネット事業者の対象地域になった。速いインターネットでテレビも見られるようになるので、ケーブルテレビに入ってインターネットもしていた人たちが結構抜けていると思う。そう考えると早めに美麻八坂地域も光方式にしないと、どんどんと抜ける人が増えていきそうなので、その辺の方向性などあるか。
- どんなサービスだとしても全域で同じサービスをすることが一番だと思うが、どうしても費用が掛かるので、補助金の活用を検討していきたい。インターネットサービスについては、市のケーブルテレビがどこまでのサービスを提供するかを考える時期にきていると感じる。具体的な方向性を検討する場として、この審議会でのよいのか信越総合通信局にも確認したい。

(3) 放送番組の視聴と感想

(第549回きりりステーションを視聴)

・委員からの意見等

- 今日改めて番組を見てみると、他の民間放送局とレベル的に遜色のないかなり高いものではないかと思う。
- ケーブルテレビの加入世帯数が減少しているのも人口減少と同じテンポで行くと思うケーブルテレビ事業の方向性は、移住者などを増やす方向性と合わせて考えることが重要ではないか。

- 番組内容は、すごいよくできていて、岳陽高校や仁科神明宮のローカルでリアルな情報でとてもよかったです。目的がないとケーブルテレビに加入することは難しいと思うので番組内容の広報をもっとしたほうがいい。
- 撮影技術含めてだいぶレベルが上がってきて、安心してみることができた。加入促進を考えると番組の中身も大事だが、学校や保育園での広報する機会を設けることも大事だと思う。
- 市民にカメラを貸し出すとともに、最低限の撮影技術を教えて、市民サポーターを募っても良いのではないか。例えば、保育園の行事が多いときなど、保護者に撮影してもらえば、自分で撮影したものをテレビで見たいと思うし、保護者がテレビの撮影をしていることでケーブルテレビに興味をもってもらえる機会が増えると思う。
- 移住者や転入者に対して、加入工事負担金の補助金などはあるのか。
→定住促進のマイホーム助成金で工事費分の補助がある。
- 補助金があるのなら積極的にアピールしたほうがいい。